

従業員とともに

グローバル憲章の共有

すべての活動の礎に―「ブラザーグループ グローバル憲章」の浸透

全従業員で共有するために積極的な浸透活動を展開

「ブラザーグループ グローバル憲章」(以下グローバル憲章)は、グループ各社とグループ従業員の日々の意思決定と実行に関する基本方針と行動規範を定めたものです。グループ全従業員の活動の礎として共有され、日々の行動に表れている状態を目指し、継続的かつグローバルな浸透活動に取り組んでいます。

グローバル憲章を全従業員で共有していくための環境づくりとして、携帯用のポケット版グローバル憲章(27言語)とポスター、解説DVD(5言語)を各拠点に配布しています。また、イントラネットを活用した内容の説明やeラーニング、経営層や管理職によるコミットメント(約束)、各組織の活動計画などを共有するとともに、自らの「行動」を具体的に考えることができるように、各組織での実践事例や他社事例を共有し、それらをテーマとした「対話」を核に理解を深めています。

2015年3月に開催された経営層によるグローバル憲章共有会議では、経営層と従業員の直接対話の活性化(200回以上)や社長自らが複数回の講義に立つ「テリー's チャレンジ塾」開講など、2014年度の実績を確認しました。併せて、「グローバル憲章」浸透の成果として表れる従業員一人ひとりの行動や成長をさらに後押ししていくため「チャレンジ風土を醸成する環境づくり」をどうやって実現していくか、トップとしてどのようにリーダーシップを発揮していくかを、社長をはじめとする全執行役員が議論しました。



27言語に翻訳し、全世界で共有



社長、執行役員と従業員が語り合う場(グローバル)

また、グローバル憲章浸透活動を推進するために重要な役割を果たしているのは各組織の「グローバル憲章共有リーダー」の存在です。世界で約370名の共有リーダーは、各拠点・各組織の実情に合った計画を立て、研修や浸透活動の事例報告会など、グローバル憲章浸透のための推進活動を行っています。たとえば中国では、製造、販売、開発の7拠点の共有リーダーが一堂に集まる「中国横串共有リーダー会」を、2014年6月から定期的で開催しています。「チャレンジ風土の醸成」に向けた計画の立案・実行・改善を自律的に進め、2015年3月には拠点ごとの「チャレンジ事例」の発表会を開催しました。また、ブラザー インダストリーズ フィリピンでは、グローバル憲章のキーワードごとに、自分たちの周囲で起きたキーワードに関連する具体的な事例をわかりやすい映像にし、急激に増加した従業員への共有ツールとして展開するなど、独自の取り組みを進めています。

このような活動事例は、社内Webサイトを通じて日英中の3カ国語でグローバルに発信され、ブラザーグループ内で共有されています。

従業員とともに

グローバル憲章の共有

すべての活動の礎に—「ブラザーグループ グローバル憲章」の浸透

全従業員で共有するために積極的な浸透活動を展開



各拠点で行われている活動

ブラザーグループは、こうした多様なグローバル憲章浸透活動を通じ、チャレンジ風土の醸成に取り組んでいます。それは、グループとして成長していくためには、あらゆる変革を恐れず、チャレンジ精神を持って行動することが必要だからです。また、グローバル憲章に示された、"At your side." を意識した従業員すべての行動は、グループの成長だけでなく、社会からの要請に応える活動、あるいは継続的な社会貢献活動にも強く結びつきます。ブラザーグループは、これからもステークホルダーの皆さまからの信頼を積み重ね、従業員にとって「誇り」の持てる企業の実現に繋がるよう、この活動を継続していきます。